

黒龍江省における振興と日中協力

中国・黒龍江省社会科学院東北アジア研究所所長 宋魁

1. 黒龍江省旧工業基地振興の基本状況

政策指導

東北旧工業基地の調整・改造を支持するために、国は財政、税制、社会保障、金融などの面で政策を立案・実施してきた。第一に、農業の面では、黒龍江・吉林両省で全面的に農業税の免除政策を実施し、東北地域の食糧生産への補助の範囲と規模を拡大した。中央財政が東北三省に対して支給した農村における税や費用改革の移転給付や、食糧直接補助、良種補助などの金額は53.1億元に達した。第二に、遼寧省の経験を踏まえ、黒龍江・吉林両省で都市と町の社会保障体系の試験を広めた。2004年、中央財政は関係部門と共同で、東北地域の国有企業の政策的廃業と破産に対して継続的に支持を拡大し、資源が枯渇してきた石炭・有色金属鉱山及び軍事工業を平穩に市場から退出させ、多くの社員が適切に再配置された。第三に、税収支持政策を確実に実施してきた。2004年末までに、税務部門が条件を満たした4万戸あまりの企業で、付加価値税転換試験の実施対象の資格認定を行い、審査を経て、税金12.82億元を相殺、還付した。2004年末、中国銀行、中国建設銀行、交通銀行三行の東北三省一市に設置された支店が、株式制度改革の過程で、破綻先債権を340億元、破綻懸念先債権を500億元処理した。

資金面での支援

国が構造調整と重点建設プロジェクトに対して資金面での支持を拡大した。石油化学、鉄鋼、大規模設備、造船、自動車・部品、農産品加工、製薬など東北地域の優位領域に関して、大規模設備生産の現地化を重点とする東北旧工業基地の国債調整と改造のプロジェクトが実施された。合計297件の工業構造調整、旧企業改造国債プロジェクトが実施され、総投資額は1,089億元に達している。2004年末までに、国債資金8.8億元が投入された。大慶と吉林化学工業エチレン製造設備改造が実施された。また、118件の東北ハイテク産業化プロジェクトが実施され、国の投資金額は5.6億元に達した。国債資金34.3億元が東北旧工業基地の農業、林業と水利建設に投入された。東北地域重点道路建設プロジェクトに「車購入税」から20.2億元、農村道路建設国家基金から22億元投資された。東北地域にある15の石炭資源枯渇地区の整備に累計で40.5億元の国家資金が投入された。

2005年9月末までに、中国銀行黒龍江省支店が「哈大齊」（ハルビン～大慶～チチハル）工業ベルト地帯に人民元と外貨を合わせて145億元人民元融資し、九三油脂グループや、大齊道路、哈藥（ハルビン製薬）グループ、泰富実業グループ、完達山製薬グループなどの138件のプロジェクトを支援している。さらに、東北軽合金や、チチハル火力発電所、黒龍江省電力会社などの重点産業に81億元の貸付承諾書を提出し、「哈大齊」工業ベルト地帯の発展を有効的に促進している。

構造調整

企業破産を通じて欠損を切り捨て、欠損の元を取り除き、国有資産の連続的流失が避けられるとともに、企業の苦境脱出と健全な発展の基礎が固められた。調査によると、113の破産企業の中で、多くの企業で有効資産が再配置され、また一部分の企業は破産後、土地が開発され、遊休資産が利用され、従業員の再就職が促進された。統計の示すところでは、2004年、黒龍江省は75の国有大中型企業が改制（制度改革）を完成し、改制後、一部分の企業グループでは規模の拡大と生産力の増強が実現されるとともに、売上高と利潤がそれぞれ16%、89%増加した。

樺林タイヤ、北満特鋼、黒石化と黒乳グループの四つの大型企業は2004年、改制を実現し、改制後、企業の機能が増強され、業績改善がみられる。2005年1月から10月までの間に、30.8億元の売上高を計上し、前年より94%増加した。

外部資本の利用

外部資本の利用を通じて、旧工業基地の振興を実現することは、黒龍江省の経済発展における重要な考えの一つである。東北旧工業基地の振興に歩調を合わせるために、省政府が2004年を「招商引資」（投資誘致し資金を導入する）年と定め、外部資本の利用において好成績が達成された。2004年、全省の新規外国投資は280件で、実際の外資利用金額（実行ベース）は12.36億ドルに達し、対前年比で20.07%増となった。国内投資プロジェクトでは1,591件が調印され、総投資額（契約ベース）が673.2億元に上り、142億元がすでに実行され、対前年比で33.9%増となった。

そのうち、1千万ドルを超えたプロジェクトは、黒龍江振戎斯達実業有限公司の紙パルプ・紙製品プロジェクト、

黒龍江美龍旅行資源開発有限公司の旅行資源開発プロジェクト、鶏西広粵大豆精加工有限公司の大豆関連製品の加工プロジェクトなどがある。1億元を超えたプロジェクトは、宝清火力発電プロジェクト（山東魯能）、七台河（国際電力地熱開発公司）石炭化学プロジェクト、哈商貿城（広東香江グループ）プロジェクトなどがある。外部資本を利用した大型プロジェクトは黒龍江省の外部投資の成長に重要な牽引の役割を果たし、黒龍江省の産業構造調整促進に大きく貢献した。

初期の成果

2004年は黒龍江省が旧工業基地振興戦略実施の初年度であり、経済と社会の発展で著しい成果が得られた。国有大中型企業の改革において歴史的突破を実現し、79社が投資誘致と改制の任務を果たし、売上高275.9億元（対前年比16%増）、利潤12.6億元（対前年比89%増）を実現した。

経済体制改革の度合いが深まりつつあり、企業の合併と再構築の歩調が加速している。黒龍江省の75の国有大中型企業の改制がほぼ完成され、石油、鉄道、炭鉱、炭鉱機械などに所属していた327の小中学校が地方政府に無事譲渡された。地方大中型国有企業の349の補助部門の17.9億元の資産と2万名の従業員が主要部門から分離された。哈啤（ハルビンビール株式会社）は9億香港ドルの外資を参入させ、株主権利が成功裏に譲渡された。省内の四大石炭企業が連携して、石炭グループに再建された。遼寧特鋼、大連鉄鋼グループ、と黒龍江北満特鋼が省の境を越えて連携して東北特鋼グループになり、年産特殊鉄鋼の能力は国内最大の300万トンに達した。

2. 中日協力の可能性

日本の投資家は国有企業改革に直接に参入できる。

最近、外国投資家が買収・合併や、株式取得など多様な手段で東北国有企業の改革改造への参与を奨励することが国務院に許可された。条件を満たした外国企業が国内外の資本市場で上場することが認められる。外国投資企業の発展を促進する社会保障環境をさらに改善すること。外国投資家の国内企業に対する買収・合併・再編を規範化させ促進すること。この四つの措置を活用して外資の東北国有企業改革改造への参与を奨励し、東北経済体制の刷新を加速する。

対外開放の拡大は、東北旧工業基地振興戦略の実施において重要な構成部分であり、黒龍江省が現在直面している経済発展の活力不足や、所有構成が単一である傾向、就職難などの諸問題の解決に有利である。我省にとっては、国

有企業改革は一つの道に過ぎず、最終の目的は産業と企業を強めることである。そのため、旧工業基地の調整改造という大きなチャンスが訪れてきたときは、日本企業が我省の国有企業に対して買収・合併・再編に積極的に関わるよう提案する。

日本企業が多様な形式・方式で、多様なルートで我省の国有企業の所有権制度の改革に参与できる。国家が明らかに禁止している業種以外の地方国有企業が、外国企業や私営企業に対して全面的に開放することができる。中国と外国企業による合資や、買収と再編、規範的な上場、法人の株式市場への参入、従業員の株持ちなど多様な形式で投資の主体を多元化していく改革を進める。

日本の銀行、投資会社及び他の金融機構が黒龍江省で支店を設立できる。

日本の金融機関が黒龍江省地方都市の商業銀行へ株式に参入し、農村信用社の改制と再構築に参与することを提案する。企業年金、農業保険など諸方面に優位性のある外資系保険会社の黒龍江省への進出を奨励する。外国企業の我省での合併証券会社、証券投資基金管理会社、保険代理会社、外資系保険会社が経営機関を設立する場合、優先的に許可する。

日本企業及び個人は中国の証券市場を通じて国有企業の株式を購入できる。

哈薬（ハルビン医薬）グループが1993年に上海証券取引市場に上場して、黒龍江省初の上場融資企業になって以来、我省の華冠科学技術股分有限公司（華冠科技）と北大荒農業股分有限公司（北大荒）の最近の上場まで、黒龍江省には国内外の上場会社が38社あり、累積募集資金が205億元に達している。証券市場は我省の経済と社会生活の中で重要な役割を果たしている。現在、我省の上場会社は医薬、航空、電力、情報技術、自動車製造、農業産業化などの優位性のある産業分野で強い投資誘致効果を示しており、地方経済の発展を促進する重要な力となっている。成長性の高い一部の国有大型企業と民営企業が資本市場の新たなパワーとなっている。さらに上場の可能性を探り出して、実力のある国有大型企業の上場を支援することを提案する。日本の有力な投資家が内外の証券市場に進出し、我省の企業の改造株式を購入することを歓迎する。

日本企業は我省の大型プロジェクト開発といういいチャンスをつかみ、「哈大齊」工業ベルト地帯などの大型プロジェクトへの参加を勧める。

「哈大齊」工業ベルト地帯建設の健全で速い発展を支援し、旧工業基地の振興を促進するために、黒龍江省が『「哈大齊」工業ベルト地帯建設の支持に関する政策』など29条の優遇措置を打ち出しており、その中の行政審査・許可と料金の徴収方法などの規定は魅力的である。「哈大齊」工業ベルト地帯の建設に関する政策の制定は政府の創造意識と貢献意欲を表している。「哈大齊」工業ベルト地帯の建設は、黒龍江省が「哈大齊」地区の経済、科学技術、豊富な人的資源、重度アルカリ土壌の土地など豊かな未利用の土地資源の優位性を生かし、旧工業基地振興の歩調を速める重大な措置である。「哈大齊」工業ベルト地帯は都市工業群を互いに補い協力できる典型的な例であり、東北旧工業基地発展の重要な地域である。また、優遇的補助政策は投資家の注目を集め、投資家の利益獲得の空間を十分に保障し、工業ベルト地帯の起動、発展の起爆剤である。

土地政策：「哈大齊」工業ベルト地帯にあるハルビン区間は年度の土地利用が計画的に許可されるが、追加的土地使用の可能性が排除されるわけではない。認定されたハイテクプロジェクトに対して、土地代金の市政府の純収益部分は、政府の扶助基金としてプロジェクトの発展に用いる。法定の最高譲渡年限の範囲内で、譲渡年限を調整できる。投資総額が5,000万円を超えたプロジェクトに対して、許可を得た上で、土地譲渡金を株式出資の形で土地を提供できる。

財政政策：市の関係部門が科学技術三項目、ハイテク産業化プロジェクト専門基金、旧工業基地の調整改造基金、農業総合開発基金、建設資金財源や人材発展資金などの専門基金を活用し、優先的に工業ベルト地帯プロジェクトを支援する。省から市の財政に還付された新規建設用地の有料使用費をプロジェクト所在の区、県（市）及びハルビン開発区、群力新区に全額還付し、耕地の開発と再開墾に用いる。

科学技術と人材政策：ハルビン市高技術（ハイテク）産業の重点支持領域に属する科学技術の成果・特許を持って、工業ベルト地帯のハルビン区間に進出し、研究成果の活用や、企業設立、産業化の実施を行う機関と個人が優先的に市のハイテク産業発展専門資金の援助を受けられる。企業の選ばれたハイレベルの専門的人材の国内外の大学や、科学研究機構或いは多国籍企業への研修に特別に援助する。工業ベルト地帯のハルビン区間の創業に来る留学帰国人員に対して、同等条件の下で、優先的に市留学帰国人員科学研究基金の援助を受けられる。

プロジェクトの実施に関して行政が関与・調整することの重要性が注目されている。上海瑞禾房土産（不動産）発

展有限公司が哈西と2億円の投資契約を調印した。2005年1～9月までに、南崗区が誘致プロジェクトを1,613件（前年同期比で28.8%増）完成し、資金の実行額が49.8億元（前年同期比で95.8%増）に達した。1千万円を超えた大型プロジェクトを81件導入し、正常に運営しているプロジェクトは43件である。契約ベースでの外資利用額は2,864.2万ドル、実行ベースで1,319万ドルに達成した。外国貿易の輸出入総額は5.86億元（57.34%増）、輸出入総額、輸入額、輸出額の三つの指標は、ともに全市の各区、県（市）の中で第一位となった。

日本企業は「6大産業基地」への投資が奨励される

黒龍江省は「6大産業基地」を工業投資の中心として建設した。2005年から、黒龍江省は旧工業基地振興の政策を更に着実に行っている。投資構成を調整しながら、「6大産業基地」の建設に力を注いできた。1～9月までに、「6大基地」の建設が開始されたプロジェクトは1,105件（前年同期比320件増）であり、全工業プロジェクトの84%を占めている。

このうち1億元以上のプロジェクトは204件（前年同期比56件増）であり、「6大基地」全プロジェクトの18.5%を占めている。投資金額は222.9億元に達し、「6大基地」総投資金額の72.2%を占めている。「6大基地」全体の建設資金は329.2億元（前年同期比37.5%増）となった。

資金の出所を見ると、自己資金が建設投資の主要なチャンネルである。2005年の1～9月、自己資金が263.0億元で全資金の63.5%を占める。国家予算内資金は5.7億元、国内の借入38.1億元、外資利用は7.6億元となった。

日本からの資金は装備機械、石油化学、緑色食品、エネルギー、医薬品と木材加工の6大産業基地に投入すること提案する。これは黒龍江省が旧工業基地振興を促進するだけでなく、両国が国際市場の中で競争力を高めることを意味する。中日合作は新しい経済力の形成に有利であり、総合的競争力も高められる。中日合作の要素は互いに優勢を補い合うことが経済の短期効果を得られる上に、生産力要素の相互作用も強化できる。合作を通じて、エネルギー、技術、工業基礎などの総合的優位性の発揮を実現できる。

四稿すべてについて2006年1月26日、立命館大学において開催された国際シンポジウム『中国東北侵略戦略の現段階と新たな日中地域間協力～国有企業改革と循環型社会経済の構築を中心に～』（立命館大学東北アジア地域研究センター開設記念、外務省「日中知的交流支援事業」）に提出された中国語原稿をERINAにて翻訳したものである。